令和8年 6 月 13日 10:00～12:00
大阪府立槻の木高等学校 応接室

令和8年度 大阪府立槻の木高等学校 第 1 回学校運営協議会

委 員
会 長 北元 正志（本校 PTA 会長）
副会長 岩元 優子（高槻市立第一中学校校長）
委 員 宮坂 政宏 官田 光史 有本 昌剛 【欠席】福本 章一郎

事務局
浅田 和也（学校長） 江菅 純一（首席） 山本 将司(学習指導室長)
【欠席】水井 理弘（事務長） 坂口 亮（教頭） 井上 公彦（首席）

次 第
1、開 会
委員紹介
学校長挨拶
会長挨拶
学校運営協議会の開会が宣言され、委員の紹介が行われました。
今年度より福本 章一郎、有本 昌剛が新たに就任されました。

2、令和8年度 学校経営計画及び学校評価についての説明（浅田 和也）
・めざす学校像について
・中期的目標について
要約
・教育目標の拡充:「探究心・向上心」の育成、グローバル社会で活躍する人材育成、および遠隔授業による学習機会の保障を明記。
・働き方改革の数値目標:時間外在校等時間が 720 時間を超える教職員をゼロにする目標を設定。前年度比で時間外勤務が約 18%減少するなど、教職員の意識変革が進んでいる。
・教育課程の変更:始業時間を 8:10 から 8:40 へ 30 分繰り下げ。これにより、教職員の勤務環境改善と、通学圏の拡大（朝の早さを懸念していた層の取り込み）を同時に狙う。

3、協 議

学校の中期計画およびプロジェクトチームの取り組みについて、各委員からの質問と学校側の現状認識を共有した。特に「人間関係調整力」および「自尊感情の低下」が懸念される中、内面的な課題を抱える生徒への対応が学力向上にも直結する。他者と協働する相互理解の重要性が確認された。

・遠隔授業を活用した学習保障を継続し、出席管理ルールを徹底する。また、宿題の量だけでなく内容の質を再考すべきとの指摘がなされた。
・教育課程において７時間授業が予習負担を増大させ、生徒の生活の質に影響を与えている可能性を認識し、「6 時間化」が放課後の時間の有効活用と生徒の主体性に与える影響、その意義を生徒・保護者にいかに浸透させるかが主要な議題となった。
・生徒の個人情報管理に対する意識が希薄であり、SNS 利用に伴うリスクへの対策が急務。教員だけでなく児童生徒とも情報を共有するプロセスの重要性が確認された。
・10 年後に地域の中学生が 1000 人減少するという予測を前提に、今から「選ばれる学校」への転換を急いでいる。生徒自身が学校の魅力を言語化し、広報に携わることで、学校への愛着と対外的なイメージ改善を両立させている。
・勤務時間の繰り下げを「単なる残業削減」ではなく「生徒の通学利便性向上」という教育的価値に転換している。

4、次回会議日程の確認と閉会

次回は 10 月 24日（土）に実施予定。（オープンスクール開催）
学校運営協議会の前に授業見学、施設見学を予定している。